



地域リハビリテーション活動は、元気な船橋をつくるお手伝いをいたします

昨年度作成した No.1 に引き続き、今年度は「地域リハ推進委員会ニュース No.2」を作成いたしました。

地域リハ推進委員会ニュース No.2 では、委員会の活動や役割、地域リハビリテーション拠点事業の紹介に加え、地域リハ推進委員会構成団体に所属する方が、普段どのような仕事をしているのか等を紹介いたします。



石川 誠 氏

地域リハビリテーションとは

「障害のある子供や成人・高齢者とその家族が、住み慣れたところで、一生安全に、その人らしくいきいきとした生活ができるよう、保健・医療・福祉・介護及び地域住民を含め生活にかかわるあらゆる人々や機関・組織がリハビリテーションの立場から協力し合って行う活動のすべて」（日本リハビリテーション病院・施設協会 定義）のことです。

地域リハ推進委員会の活動と役割について

船橋市においては、平成 25 年 5 月より在宅医療の充実と医療・介護の連携を推進するため「船橋在宅医療ひまわりネットワーク」が 4 つの委員会（顔の見える連携づくり委員会、人材育成委員会、安心の確保委員会、資源情報管理委員会）での活動を開始しました。平成 28 年度からは、5 番目の委員会として、地域リハ推進委員会が前身の「船橋市地域リハ研究会」を引き継ぎ、活動を行っています。更に、平成 31 年度には、6 番目の委員会として、認知症の人にやさしいまちづくり委員会も加わっています。

「地域リハ推進委員会」の活動としては、市の事業となった地域リハビリテーション拠点事業への協力や、リハビリ関連団体などの活動の取りまとめ、市内外の情勢を踏まえ、リハビリテーションに関する懸案事項を審議する事を目指しています。

平成 30 年度は、地域リハビリテーション拠点事業としての研究大会、地区勉強会、介護職勉強会などへの参加、本冊子「地域リハ推進委員会ニュース No.1」の発行や、障害児リハの実態を知るべく、各方面の専門家を招いて勉強会を行いました。元号が令和となった今年度も障害児リハについて勉強会を行い、議論を重ねました。そして、船橋市で障害児リハに携わる機関にアンケート調査を行ったところです。障害児リハに関しては、得られた知見を「地域リハビリテーション協議会」に報告し、一応の活動に区切りをつけようと思っています。

今後は、地域包括ケア推進のために、ひまわりネットワーク他委員会と連携を図りつつ、船橋にリハビリテーションが浸透していくような活動を模索しながら、取り組んでいきたいと考えています。

P2～P3 では、地域リハビリテーション拠点事業の活動を紹介いたします。

研究大会の開催（平成 21 年から年 2 回開催）

○第 20 回研究大会

令和元年 9 月 19 日（木）に船橋市中央公民館にて開催。講師に日本福祉大学名誉教授の二木立氏をお招きし、「地域包括ケア・地域医療構想とリハビリテーション医療」をテーマにご講演いただいた。当日は 178 名の医療・福祉・介護専門職が参加した。



地区勉強会（平成 22 年から事例検討を実施。市域を北部・中東部・南西部の 3 ブロックに分けて実施）

○5 月（中東部地区で開催）

船橋市立リハビリテーション病院にて、「うつ病が原因で入院した症例の支援方法を考える」をテーマに勉強会を実施。当日は 120 名の方が参加した。



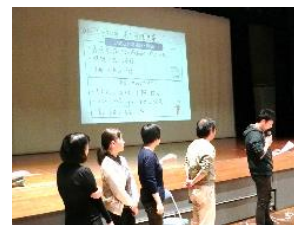
○7 月（南西部地区で開催）

きららホールにて、「軽度認知症の本人と、社会との接触が乏しい息子、8050 世帯の在宅生活・意思決定支援について」をテーマに勉強会を実施。当日は 141 名の方が参加した。



○11 月（北部地区で開催）

二和公民館にて、「知っておいて損はない あなたの住む地域特性～災害時を想定し、事例を通してみんなで考えよう～」をテーマに実施。当日は 68 名の方が参加した。



介護職向け勉強会 (年間 10 回開催)

市内の施設や訪問・通所系事業に従事する介護職員向けに、リハビリテーションの視点を取り入れた介護技術についての勉強会を開催。令和元年度は認知症、移乗、起居・体位変換、集団体操、更衣介助、高次脳機能障害等の勉強会を実施し、各 20 名～80 名程度参加した。



摂食栄養サポート勉強会 (年 2 回、歯科医師会、栄養士会、介護支援専門員協議会等と協働で開催)

第 14 回は船橋市立リハビリテーション病院にて「飲み込む前にできること～食事の見方と調理法の工夫～」と題して開催し、58 名の方が参加した。



市民公開講座

令和元年 6 月 29 日 (土) に船橋市保健福祉センターにて開催。

講師に社会福祉法人こうほうえん理事長の廣江研氏をお招きし、「地域包括ケア時代のリハビリテーション」をテーマにご講演いただいた。当日は 105 名の方が参加した。



地域リハ推進委員会を構成する団体に所属する方の、現在の仕事を選んだ理由やきっかけ、仕事のやりがい、普段の仕事内容等を紹介いたします。

田代 晴基さん・歯科医師

(勤務先：船橋市かざぐるま休日急患・特殊歯科診療所)

(所属団体：公益社団法人 船橋歯科医師会)

歯科医師は、個々の症状に応じた適切な治療や摂食機能訓練等を行い、口腔機能の維持・向上をサポートします。

○今の仕事を選んだ理由・きっかけ

歯科医師である父親の影響で職業を選択しましたが、摂食嚥下や訪問診療は寝たきりであった祖母の影響が大きいです。歯科の分野ではまだあまりメジャーではなかった分野に入りたく大学病院に残り勉強しました。

○仕事のやりがい

生きていく上で欠かすことのできない「食べる」ことを支援できる職業だと思っています。

私に関わって食べる事が出来るようになった方の笑顔を見たとき、訪問診療の最後に「また来てね」と自分を必要とっていただいたときにやりがいを感じます。



【主な仕事内容】

院内や自宅、施設で一般的な歯科治療、「食べる」「飲み込む」ことが困難になった方に対するリハビリテーションを行い、その人が持っている機能を最大限引き出せるようにサポートしています。また、障がいを持った方の治療や認知症の方の歯科治療など30分～1時間時間を確保し、診療を行っています。

池田 京子さん・ケアマネジャー

(勤務先：生活クラブ風の村ケアプランセンター船橋)

(所属団体：船橋市介護支援専門員協議会)

介護支援専門員（ケアマネジャー）は、介護の知識を幅広くもった専門家であり、介護サービスを利用するときの相談や、在宅サービス事業者等との連絡・調整を行い、ケアプランを作成します。

○今の仕事を選んだ理由・きっかけ

ちょうど介護保険制度が始まった頃だったため。

最初は他市でケアマネ業務を行っていました。船橋市の介護支援専門員を支援している体制や研修なども充実していると感じて、船橋市でケアマネ業務をしたいと思い、現在の職場に入職しています。現在は、介護支援専門員8名で地域の皆様のケアプランの作成などのご相談等を行っています。年齢、経験年数も違うため、事業所内でいつも相談しながら日々業務と格闘しつつ、にぎやかな職場です。



【主な仕事内容】

主に介護保険のサービスのご相談、サービス事業所との連絡、調整を行い、その方にあった「ケアプランの作成」をしています。

月初は請求業務をメインに行っています。中旬・月末になると、利用者宅訪問（予定表の配布・モニタリングの実施・記録の作成）やその他新規相談対応などを行っています。

小栗 まい子さん・生活相談員

(勤務先：ケアパートナー飯山満)

(所属団体：船橋市デイサービス連絡会)

デイサービスとは、通所介護施設で、食事、入浴などの日常生活上の支援や、生活行為向上のための支援を行うものです。

○今の仕事を選んだ理由・きっかけ

今まで介護職員として現場中心の業務だった為、介護サービスの一部分しか把握していませんでした。どのような流れでサービス提供までいたっているのか、どんな思いや人が携わりサービス提供されているのかなど、全体的に視野を広げてみたいという想いと、自分自身の介護スキルアップを含め次の目標である、社会福祉士に少しでも早く準備が出来ればという考えで生活相談員になりました。

○仕事のやりがい

介護スタッフとは違って、外に出る機会も増えご家族様やケアマネジャー・他の事業所の職員の方々ともお会いする機会が増え、今までに無い経験ができており、介護現場とは違った視点で関わる事が出来ています。



【主な仕事内容】

- ケアマネジャー・ご家族へお休みの方や体調やその他状態の変化等の報告
- ご利用する為に必要な計画書類の作成
- 当日のご利用状況の確認
- 担当者会議の参加
- 各種契約対応
- 居宅支援事業所の訪問
- ご利用のお客様の追加/振替/見学/新規のご相談
- お客様のご利用予定日の確認/来月の予定作成

佐藤 亜実さん・支援相談員

(勤務先：フェルマータ船橋)

(所属団体：船橋市介護老人保健施設協会)

介護老人保健施設とは、状態が安定している人が在宅復帰できるよう、リハビリテーションを中心としたケアを行う施設です。

○今の仕事を選んだ理由・きっかけ

元々、介護業界には興味がありました。相談員になりたかったので、まずは介護の現場に入職し経験を積んで、フェルマータ船橋の支援相談員となりました。

○仕事のやりがい

自分が考えた支援内容がうまく利用者さんに合っていて、在宅復帰や在宅生活支援が進んだ時。そして、自宅での生活が急遽困難になった方を多職種で連携して早期に受け入れて、本人も家族も安心して在宅へ帰ることができた時はとても嬉しいです。



【主な仕事内容】

- 入所・退所の受け入れや送りだし
- 新規利用者の面談
- カルテ作成・情報まとめ
- 利用問い合わせの返事やベッド調整
- 利用者宅訪問等

松川 基宏さん・理学療法士

(勤務先：船橋市役所 包括支援課)

(所属団体：船橋市訪問リハビリテーション連絡会)



訪問リハビリテーションとは、居宅での生活行為を向上させるために、理学療法士等リハビリの専門職が訪問によるリハビリテーションを行うものです。

○今の仕事を選んだ理由・きっかけ

理学療法士として当初は病院勤務を考えましたが、行政及び地域における理学療法士の役割、ましてやリハビリテーションの考えがまだ浸透していなかったため必要性を感じて市役所に入庁しました。

○仕事のやりがい

市では、地域リハビリテーションの推進に力を入れています。在宅医療ひまわりネットワークの活動も活発になるなど、市民の健康及び障害や介護が必要になっても、安心して生き生きと暮らせる地域づくりのために関わることによりやりがいを感じます。

【主な仕事内容】

●要支援・事業対象者の介護予防ケアマネジメントの自立支援強化を図る事業

・自立支援ケアマネジメント検討会議
(多職種による会議で介護予防ケアプランを評価し、ケアマネジャーに助言を行います。)

・リハビリテーション専門職の同行訪問
(リハビリテーション専門職がケアマネジャーと同行訪問します。)

●介護負担の軽減のための事業

介護保険制度を適切に活用することで、利用者の持てる力を最大限に引き出し、出来るだけ望む生活を実現していくことができる。また、社会保障制度のセーフティーネットを将来に向け維持していくために取り組んでいます。

緑川 富貴男さん・医療ソーシャルワーカー

(勤務先：千葉徳洲会病院)

(所属団体：船橋市回復期リハビリテーション病棟連絡会)

回復期リハビリテーションとは、急性期に引き続き、2～6か月間、家庭復帰を目指して、日常生活動作訓練や機能回復訓練など各種のリハビリテーションが集中的・総合的に実施されるものです。

○今の仕事を選んだ理由・きっかけ

もともと介護支援専門員として介護保険に関する業務に従事していましたが、社会福祉士の資格を所持していることと相談支援のキャリアを見込まれ、現在の部署に配属されました。

○仕事のやりがい

患者様や家族が安心して地域社会に復帰できるようにするためには、常に全力で取り組まねばならないので気が抜けません。その分解した時の達成感は大きいです。



【主な仕事内容】

現在は回復期病棟において、リハビリが必要と思われる患者様の入院の支援、また、在宅生活復帰や施設入所などの、退院支援の調整を主に行っています。

伊藤 秀一さん・作業療法士

(勤務先：船橋二和病院デイケア)

(所属団体：船橋市通所リハビリテーション連絡会)



通所リハビリテーション（デイケア）とは、介護老人保健施設や医療機関などで、食事、入浴などの日常生活上の支援や生活行為向上のためのリハビリテーションを日帰りで行うものです。

○今の仕事を選んだ理由・きっかけ

作業療法士（OT）を選んだ理由はなく、偶然この仕事に就いたというのが正しいと思います。しかし今は、利用者の人生の中で重要な位置にいることを自覚し、責任を持って行っています。

○仕事のやりがい

利用者にとっての本当の楽しみを引き出し、探し、繋がられた時にやりがいを感じます。時間も負担もかかります。自己満足かもしれませんが、その顔が見られるのであれば、今後も作業療法士として続けていきます。

【主な仕事内容】

作業療法士としてリハビリを中心に行い、契約や担当者会議等で家族や他施設の方と積極的に関わる事も行っています。今後は利用者がデイケアに留まることなく、デイケア卒業後により良い生活を送れるための働きかけをしていきたいと思っています。

半沢 美由紀さん・医療ソーシャルワーカー

(勤務先：船橋総合病院)

(所属団体：船橋市ソーシャルワーカー連絡協議会)

ソーシャルワーカーは、患者さんやその家族の方々の抱える経済的・心理的・社会的問題の解決、調整を援助し、社会復帰の促進を図ります。

○今の仕事を選んだ理由・きっかけ

社会福祉士の資格を活かせる仕事に就きたいと思ったのがきっかけです。その中でも、医療機関のソーシャルワーカーとして働いてみたいと思ったのは、様々な課題を抱える地域の身近な人たちに寄り添って相談支援の仕事をしていきたいと考えたからです。

○仕事のやりがい

ソーシャルワーク・援助技術について学ぶ機会を持ち、日々自己研鑽をするようにしています。常に自身の専門性を磨きながら実践を重ねることにやりがいを感じます。



【主な仕事内容】

医療機関・介護施設や相談機関にて、利用者の社会的・心理的・生活など様々な相談をお受けしています。また、地域の方々と協働して地域生活の支援体制や制度仕組みづくり、働く人の心身の健康サポートなども行っております。

令和元年度 地域リハ推進委員会 出席委員一覧

団体名	委員氏名（敬称略）
一般社団法人船橋市医師会	松岡 かおり、吉田 幸一郎、鳥海 正明
公益社団法人船橋歯科医師会	齋藤 俊夫、山崎 繁夫、田代 晴基、 遠田 なほみ、飯島 美智子
一般社団法人船橋薬剤師会	杉山 宏之、永井 葉子
一般社団法人千葉県理学療法士会	高木 秀明
船橋市介護支援専門員協議会	吉田 友則、松本 重訓、小倉 雅治
船橋市ソーシャルワーカー連絡協議会	半沢 美由紀、斉藤 千尋
ふなばし市訪問看護連絡協議会	太和田 哲也、沢田 智子
船橋市訪問介護事業者連絡会	久保田 恵子
船橋市栄養士会	福島 節子、馬場 さつき、加藤 寿美
船橋市介護老人保健施設協会	塩原 貴子
船橋市老人福祉施設協議会	林 茂樹、石神 敏明
船橋市回復期リハビリテーション病棟連絡会	池田 喜久子
船橋市訪問リハビリテーション連絡会	松川 基宏
船橋市通所リハビリテーション連絡会	塩原 貴子
船橋市デイサービス連絡会	北原 淳力
船橋市障害福祉施設連絡協議会	宮前 篤史
船橋市在宅医療支援拠点ふなぼーと	佐藤 梓
船橋市立リハビリテーション病院	石川 誠、川田 理恵
船橋市リハビリセンター (地域リハビリテーション拠点)	石原 茂樹、江尻 和貴、鳥居 和雄
船橋市南部地域包括支援センター	石井 聡明



地域リハ拠点事業
ホームページはこちら

令和2年2月発行 船橋在宅医療ひまわりネットワーク
(事務局)船橋市 地域包括ケア推進課 ☎047-436-2354



ひまわりネットワーク
ホームページはこちら